

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年1月26日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年1月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【淡水化装置3からの漏えいについて】 「淡水化設備漏えい監視装置異常」警報が発生したことから現場を確認したところ、淡水化装置3のRO膜洗浄用のタンクの空気抜き配管からの水の漏えいを確認した。 同装置を停止するとともに当該タンクに接続している配管の弁を閉止し漏えいを止めた。 漏れた水は堰内に留まっており、外部への漏えいはなし。その後、回収を実施。	GⅢ
2	【タンクパトロール中における凍結箇所での負傷について】 タンクエリアパトロール中の当社社員がJ1タンクエリアの凍結した通路で足を滑らせ、右足を捻った。 その後、発電所構内の緊急医療室にて右足関節捻挫と診断され、処置を行った。	GⅢ